

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市川内庭球場・仙台市青葉体育館・仙台市武道館
2	指定管理者	公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団
3	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 29年度 353,130人 (前年度比 93.3%) 前年度 28年度 378,670人
		《事業》 29年度 延べ参加者数 29,551人 (前年度比 98.7%) 前年度 28年度 延べ参加者数 29,930人
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 160,926千円 (159,376千円) ・ その他市が負担した費用 24,868千円 (19,482千円) 《収入》 ・ 使用料収入 72,990千円 (68,435千円) ・ その他収入 335千円 (352千円) ()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 平成29年11月15日から平成29年12月6日までスポーツ施設利用者アンケートを実施した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設置目的に基づいた運営方針が確立されており、職員の理解のもとに、施設運営が行われている。 また、市民スポーツ活動の推進についての取り組みがなされている。	S
II	施設の運営管理体制	職員の配置及び開館状況は事業計画に相違なく、経理も適切に処理されている。 また、事故防止に向けた体制を構築し、安全に対する職員間の意識の浸透が図られている。 ただし、書類や資料の適正な管理のための措置が不十分であり、改善の必要がある。	C
III	施設・設備の維持管理	建物の内外及び設備について、安全の確保がなされ、利用者が快適に利用できるような状態を保持している。 また、利用者に対するごみ分別の呼びかけや職員による資源の再利用等、新・仙台市環境行動計画に基づく取り組みが積極的に行われている。	S
IV	サービスの質の向上	職員に対する接遇研修を行い、利用者が気持ちよく施設を利用できるよう努めており、平成29年度に実施した利用者アンケートでは、概ね満足していただいている結果を得ている。 利用者からの要望や苦情への対応も、積極的かつ迅速に行われ、職員全体でサービス向上に努めている。	S
V	施設固有の基準	協定書及び事業計画書のとおり、スポーツ教室等、多様な自主事業を積極的に提供したことにより、利用者数の目標を達成し、市民のスポーツ振興に大きく寄与した。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（公益財団法人 仙台市スポーツ振興事業団）による自己評価》

青葉体育館・仙台市武道館は公正と効率性を重視した施設の管理運営、利用者の安全を第一に考え定期点検や日常点検をこまめに行う事で事故や故障の未然防止に努めました。平成27年8月に仙台市スポーツ振興事業団業務継続計画(BCP)を制定し、有事の際に速やかな対応ができるよう年数回訓練を継続して実施しています。また、利用者、来館者、地域のスポーツ・武道関係者、近隣住民等の意見に耳を傾けるとともに必要に応じて当事者と話し合いを行うなどして施設の運営や業務改善に役立てるよう取り組みました。具体的には月毎に発行している行事予定表に駐車場満車予想の掲載、敷地内への禁煙掲示、弱視者の方がトイレや更衣室の男女用の区別がしやすい表示の工夫などで、これらの事例は利用者からも好評を得ております。自主事業については、市民のライフステージに応じた活動をサポートできるよう、①通年型プログラム、②定期型プログラム、③フリー参加型プログラムに分類し実施しました。参加者や講師の意見を取り入れながら新たなプログラムの実施にも取り組みました。なぎなた愛好者の高齢化や減少に悩む仙台市なぎなた協会と協働でなぎなた教室を実施しました。次年度以降も継続し、なぎなたの普及に協力したいと考えております。今後も参加者、講師等の意見に耳を傾け、誰もが、いつでも、どこでも、気軽にスポーツや運動に親しむことができるプログラムの実現を目指して取り組んでまいります。

川内庭球場は管理運営面においては、安心、安全な施設の利用を目指し、定期点検や日常点検をこまめに行う事で事故や故障を未然に防止しました。経年劣化による不具合等においても迅速な修繕、補修で対応しました。特に、人工芝の応急的な補修は職員により実施することで、利用者への影響を抑え、経費を節減するように努めました。また、落ち葉の時期にはコートの利用に支障がないようにする等、場内の環境整備や美観維持に努めました。利用者満足度においても常に気持ちの良い挨拶とスムーズな受付業務を心掛け、苦情や要望にも速やかに対応しました。利用者数については積雪や修繕の影響でやや減少しているものの、冬季の時間延長期間は定着し増加しています。休日に実施している開館時間前の延長についても、併せて利用者数の増減を分析し更に利用者数の拡大に努めます。自主事業においては、利用者のニーズに合わせた教室を開催することにより各年代でリピーターや新規受講者が増加し、その後サークル等へと発展し継続しているケースが多くみられました。さらに、一般初中級からレベルアップテニス教室へ、短期教室から通年教室へと継続する事で、テニス人口の増加と底辺拡大に繋がりました。また、シニア世代対象のシニアカップや、川内独自の大会である川内カップも幅広い年齢層に好評です。今後も職員相互のスキルアップを図りながら、常に利用者の目線に立ち、スポーツの振興や普及に努めます。

《施設設置者（仙台市）による評価》

施設の管理面については、定期的な施設の自主点検を着実にを行い、不具合の早期発見と迅速な対応を心掛け、また、防犯対策を強化するなど、利用者の安全を第一に施設の管理運営を行い、また、利用者からの意見や要望に耳を傾けながら、細部に至るまで配慮し、施設を利用しやすいようさまざまな取り組みを実施し好評を得るなど、利用者ニーズに応じた管理運営を行っている。

運営面について、青葉体育館においては、利用目的別に事業プログラムの設定を行い、幅広い年代の市民のスポーツ活動の場となるよう工夫するなど、参加者も着実に増えており、利用者ニーズに合った適切な事業提供がなされている。また、競技団体と協力して新たなスポーツの普及の機会を設けるなど、青葉区の拠点施設として地域スポーツ振興のための取り組みがなされている。ただし、書類や資料の適正な管理のための措置が不十分であり、改善の必要がある。

また、川内庭球場においては、天候等の影響が大きい施設ではあるが、冬季の供用時間延長や、利用者ニーズに合わせた教室の開催、施設独自の大会開催などの実施により、利用者の定着に繋がる運営がなされている。

青葉体育館・武道館において、行事予定表に駐車場の満車予想を掲載したり、川内庭球場において、ホームページで天候によるコート状況を1日4回掲載したりと、利用者の利便性向上のために新たな取り組みも実施されている。

今後も、市民へのスポーツ振興、利用者の安全安心な施設利用を実現するため、利用者の声を適切に取り入れた管理運営をお願いしたい。

総合評価

A

◎ 評価担当課（施設所管課）：文化観光局文化スポーツ部スポーツ振興課